

# 校友会から

## 行事報告

07. 1 第 1 回定例理事会・新年会  
 07. 6 第 2 回定例理事会  
 07. 8 第 4 回進入会員歓迎会  
 07. 9 実技研修会・帯広地区親睦会  
 07. 11 第 26 回総会  
 08. 1 釧路・函館地区親睦会

## 行事予定

08. 7 第 5 回新入会員歓迎会  
 08. 10 実技研修会  
 08. 11 第 27 回総会・  
 第 25 回学術講演会（帯広開催）

本校校友会は、初代菅原利規会長、2 代目簗輪雅宏会長、そして現在は 7 期卒業の日吉克己会長を筆頭とする **1500 名を超える大組織** となりました。校友会は **“世代を超えて交流できる場”** をモットーに、総会・学術研修会・新入会員歓迎会・親睦会・実技講習会を開催しております。

**校友会の新改革として新たに、本校と校友会のお互いが多大な発展を遂げるようタイアップ** し、全道各地にいる校友会員の輪を広げ、**各地方に校友会支部を作る** 基盤づくりとして親睦会を開催しました。9 月 29 日には帯広、1 月 12 日は釧路で行いました。各地区とも 30 名を超える卒業生が集結し、**校友会はより一層大きく熱い組織になると確信** しました。**数年後には道内最大となる会員数になります。**

今後数年は総会・学術講演会を地方で開催する予定で、今年は帯広で行います。皆様宜しくお願い致します。

校友会副会長 渋谷 聡

# 進路検討中の高校生の皆さん！ 技工士に興味のある皆さん！

本校ではオープンキャンパス、カレッジツアーを年数回開催しております。「歯科技工士ってどんな仕事か知りたい」、「どんな学校か知りたい」、「歯科技工士に向いているか不安」という皆さん、お気軽にご参加ください。

## お問い合わせ

北海道歯科技術専門学校  
 電話 011 (372) 2457

## お待ちしております！

## オープンキャンパス

内容としては、概要説明（歯科技工士・授業内容・卒後状況・入学試験等）、校内見学、模擬実習を行います。保護者の方には、保護者説明会がございます。また、希望者の方とは個別相談を行っております。

《10時～14時》  
 5月24日(土)  
 6月28日(土)  
 7月26日(土)  
 8月24日(日)  
 9月27日(土)  
 10月25日(土)

## カレッジツアー

申し込み不要でご参加いただけます。午後3時～9時の間のご都合の良い時間にお越しください。4時20分までは、実際の授業風景も見学可能です。高校生の参加は午後7時までとさせていただきます。（保護者同伴を除く）

《午後3時～9時》  
 7月23日,24日,25日  
 8月1日,2日,4日  
 9月10日,11日,12日

## 編集後記

卒業生の皆様に少しでも母校の『今』を感じていただけたら幸いです。次号は五月頃を予定しております。これからもどうぞ宜しくお願い致します。宮川直子）  
 題字は、事務課の藤倉啓子さんに書いていただきました。

# 創刊にあたり 学校長挨拶



平成十九年就任  
 中田 久夫

新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。世界的なグローバル化による社会変化の波の中、我が国に於いても人口構造の変化や一連の医療保険制度の改革など、我々を取り巻くあらゆる環境の変化は急激なものがありま

す。とりわけ、歯科医療業界を取り巻く環境は厳しさを増しております。このような状況の中で、学校としても校友をはじめ関係各位の皆様とは今まで以上に相互の関係を強化し交流を深めていく事が大切と

考えております。

学校の現状報告の他、講習会の企画や開催、また業界情報や求人求職などの情報等の発信を行い皆様の何らかの一助にしていただく一方、学校としても皆様の意見や情報、更には協力を頂いて学校の基盤をより磐石なものとしていきたいと考えております。また、学校法人化など学校の在り方そのものもオープンに議論していく事も必要と考えております。

その様な願いの一環として、今回私どもでこのような定期刊行紙を発行する事となりましたが、皆様には改めて少しでも学校を理解して頂く一つの機会になる事を祈念しまして発行の挨拶といたします。

## 北海道社会貢献賞受賞

平成十九年度北海道社会貢献賞地域医療功労者として、本校の上田肇理事長と朝田英哉先生（現理事・学務相談役、前校長）の御両名が受賞されました。

お二方とも地域医療功労者として永年にわたり上田理事長は浜中町、朝田先生は札幌市における地域医療への貢献が認められ、今回の受賞決定となり上田理事長はこれで二度目の受賞とのことです。

昨年の十一月十日（土）北海道歯科医師会館にて表彰式、札幌第一ホテルにて祝賀会が行われました。

本校としてもこの名誉あるダブル受賞をお祝いいたしまして、一月十八日の本校新年会の席上で職員代表よりお祝いの品をお渡ししました。



左から  
 中田久夫校長、上野正三北広島市長  
 上田肇理事長、下村英敏北広島副市長

## 創刊号

発行日 平成20年1月20日

編集・発行  
 北海道歯科技術専門学校

北広島市中央3丁目4番地1  
 電話 (011) 372-2457

## 市役所 訪問

昨年十一月六日、上田理事長と中田校長が北広島市長を表敬訪問し、市との今後の連携について懇談がもたれました。市長室には下村副市長も同席され、本校のパンフレットを興味深げにご覧になっていました。今後、北広島市の医療関係係事に対して本校が積極的に協力し、市としても学校の存在を市民に幅広くアピールするなど具体的内容が話し合われました。



# 学校の様子

## 国家試験に向けて



本科 二学年  
齊藤 慎一郎

昨年の冬休みは、研究科進学の二十二名を除いては学生最後の冬休みとなりました。その分、思う存分楽しんだつもりです。

休みが明けてからは、先生方の熱のこもった国家試験対策の毎日です。一層実習に励み、緊張感のある学校生活です。学科においても、第二回全国模擬試験が終わり、それぞれ自分に足りない部分を意識しながら最終的な追い込みをしているところです。

私たち、二十九期生は入学から一人も辞めることなくここまで頑張ってきました。残り一ヶ月あまりとなりましたが、最後まで良き仲間として、良きライバルとしてお互いを高め合いながら国家試験に臨みたいと思います。

## 研究科生として



研究科  
本間 千尋

研究科の魅力は、レーザー溶接機など最新機器を使っている臨床研修だけでなく、それらで『遊べる』ところにもあると思います。さらには、外部講師の先生方や研究科の先生から優れた理論や手法を学べることです。これは、単に知識としてのレベルアップだけでなく、普段の臨床実習に活かせることも多くあり、大変ためになっています。

このように充実した環境で思う存分技工のできる研究科ですが、ありえないようなことがたまに起こります。次は、作業中に起きた事件を紹介します。

まず、ダウエルピン植立し忘れ事件です。ノコ入れが完了し、支台歯が二次石膏からポロッと

## 『フーマライゼーション』の足もと



教務主任  
石原 定典

本校の二年生に車イスの学生が在籍しており、順調に修学し三月に卒業予定です。過去には八人の障害者が在学、全員国家試験を合格しており、下肢障害を負った車イスの学生では、二人目になります。このことは、取材記事として平成十九年五月二十二日の毎日新聞に掲載されております。

さて、「歯科技工」という専門技術職なので、当然、専門器械の取り扱いなどの作業環境を確認、調整した上での入学です。現在まで作業自体は問題なく修得しています。しかし、床に落とした材料を、車イスを器用に動かして拾う姿を目にした時、彼にとっては日常的なことですが健康者とあきらかに違う困難さを感じました。主に上半身主体の職業です、目線の作業環境を整備して

きました。が、下肢に代わる車イスの足もとに思わぬ影の部分が潜んでいたのです。

「フーマライゼーション」とは、障害者が社会環境の中で普通の生活が送れるような条件や環境を整え、共に生きる社会こそがノーマル（あたりまえ）だという「等しく生きる社会の実現」を目指し、「共生化」「等生化」と訳されている新しい福祉の考え方を提唱することばです。この実現にはことば以上に障害特性との関連による些細な困難さが足もとにあります。

卒業まであとわずかとなりましたが、就職先が決まった彼の日常生活の中で、社会が対応する環境もさることながら、周りが少しでも「足もと」を見ていただきたいと思います。と願っています。



## 主任技士 高田さんから

昨年は、事務窓口横にクリスマスツリーを飾りました。3年ぶりに出しましたが、雰囲気良くなり学生さんにも大好評でした。

また、学校の花壇は雪でいっぱいですが、校内のプランターのパセリだけはとても元気です。寒い日が続くと思いますが、皆様体に気をつけてお過ごし下さい。



昨年研究科で購入したレーザーです。モニターを設置しているので、多人数でも状況を確認できます。



一昨年、一階に講義室を増築しました。どの席からも黒板が見やすいように設計されています。



覚えてますか…?



ポーセレン室兼教員技工室です。



ロッカーも新しくなりました。



転がった瞬間、研究科が静まりました…。また、リングを昇温しないで鍛造することもありました。さらには、流し込みレジンと間違えて加熱重合レジン流し込んだことも…。最近では、おでこにうバーカップ張りつけていて内出血を起こし、ちょっとした騒ぎになりました。お恥ずかしいですが、全て実話です…。



ご指導のもと、一人一人目標を持って臨床研修に取り組んできました。あと、一ヶ月ほどの学生生活ですが、今までやってきたことを卒業発表で後輩たちに少しでも残し、胸をはり希望を持って卒業したいと思っています。

